

令和4年度 施政方針



小山祐市長

令和4(2022)年第1回みよし市議会定例会で^{おやまたすく}小山祐市長から令和4(2022)年度の「施政方針」が発表されました。まちの目指すべき方向性と取り組みについて、抜粋して新規事業を中心に紹介します。



ホームページ

市長あいさつ

令和4(2022)年度は目指すべきまちの将来像として所信表明で述べた「人が輝き、挑戦し続けるまちづくり」を具体化するため、さまざまな施策に取り組んでまいります。

例えば、カーボンニュートラルによる産業構造の変化に対応するための雇用と環境の両立支援や医療・介護の基盤整備といった本市が乗り越えていくべき課題、市民の利便性向上や行政の効率化を図るためのデジタル化の推進や民間の資金とノウハウを活用した行政手法の多様化などを目指す官民連携の推進、市民の安全安心を確保するための交通事故防止対策や災害時の減災対策などです。市として取り組むべき重点施策に対し今まで行ってきた施策を継続するとともに、それにとどまらずさらなる飛躍のために挑戦し続ける「継続から挑戦へ」そして「未来への希望を紡ぐ」という思いを込めた施策とさせていただきます。

1 コロナの感染防止と経済活動の両立支援



●コロナの感染防止と社会経済活動の両立に向けた支援を行います。新型コロナウイルスワクチン接種を推進するとともに自宅療養者、中小・小規模事業者などへの支援を継続し、一日も早く活力のある日常を取り戻すことができるよう努めていきます。またコロナによる差別や偏見をなくす取り組みである「シトラスリボンプロジェクト」の周知、啓発を行っていきます。

●公立保育園にICTシステムを導入し、登降園の管理や保護者との連絡をICT化、また市民課証明書発行手数料のキャッシュレス化導入など非接触型のデジタル技術をあらゆる場面において最大限生かし、コロナ対策を進めるとともに市民の利便性向上を図ります。

2 地域の活力を支える産業振興



●本市の基幹産業である自動車産業をはじめ、今後の産業構造の変化に対応した事業展開への支援を行い、地域企業の活性化を図っていきます。エネルギーの地産地消を進めるとともに持続可能な社会に向け、カーボンニュートラルへの取り組みを注視し、産業構造の変化や社会経済の変革に対応していきます。

●農業団体や農業組合法人、個人の認定農業者などの営農意欲と能力がある担い手農家に対し、農業用施設や機械の導入に係る費用への補助を行い、将来担い手となる農業者への継続的な活動を支援するとともに担い手農家の創出を図り、持続可能な農業の実現を図っていきます。

3 未来を担う子どもを育む教育、子育て支援



●休日保育など多様な保育サービスの提供に向け、なかよし保育園の運営を民間に移管します。城山保育園については移転新築に向け、基本計画の策定および用地取得を進め公設民営により整備をします。

●授業の質の向上や上級学年へのスムーズな移行を目指し、各校の実情に合わせ小学校教科担任制を導入します。

●天王小学校の児童の増加に対応するための普通教室棟の建設、そして南中学校の大規模改修工事、市内4中学校の体育館のエアコンの設置工事を行い、教育環境の整備・充実を図っていきます。

4 住み慣れた地域で暮らし続けられる医療福祉



- 自立や社会参加の促進を図るため精神障がい者や引きこもり状態にある人とその家族に対し、電話や窓口、訪問などによる相談体制を充実していきます。
- 介護支援専門員(ケアマネージャー)の人員増加を図るため、介護支援専門員になるために必要な受験費用と実務研修受講費用の全額を助成します。
- 子宮頸がん予防ワクチンの接種について積極的勧奨を再開し、市民の健康維持を進めていきます。
- 抗がん剤などによるがん治療の副作用に伴う外見上の変化を補うための補整用具購入費用を助成し、心理的・経済的負担を軽減するためのアピアランスケア支援事業を行います。

5 市民の命と財産を守る安全対策



- 大規模な自然災害に備え防災備蓄倉庫を新たに建築し、「新しい生活様式」の災害対策において必要な資機材の増加に対応し、各資機材の管理と発災時の迅速な物資供給を確保していきます。
- 通学路の安全を確保するため通学路交通安全プログラムに基づく交通危険個所にガードパイプなどの通学路防護柵や通学路防犯カメラを設置します。また、信号機のない横断歩道で歩行者の存在をドライバーにいち早く認知させるため、LEDが点滅し歩行者の存在を知らせる装置を通学路に設置します。
- 特殊詐欺の発生を未然に防ぐため、高齢者を対象に通話録音機能や着信拒否機能が内蔵された固定電話やその装置などの購入に対する補助金を交付します。

6 官民連携による行財政改革



- 令和3(2021)年8月に策定したみよし市デジタル化推進構想に掲げた事業について専門家から分析・評価などの支援を受け円滑な導入を進めます。行政サービスや行政組織内の業務の見直しを行い、効果的・効率的な行政の実現を目指します。
- クラウド型電子図書サービスを拡充し図書館に来館せずにインターネットを利用して本を読むことができる新しい生活様式に対応した環境を整備します。
- PPP(パブリック・プライベート・パートナーシップ)といわれる官民連携を進め、旭グラウンドの改修に向けてPPP手法導入可能性調査により効果的な事業手法の検討を行っていきます。

7 みよしの未来を切り拓くビジョンづくり



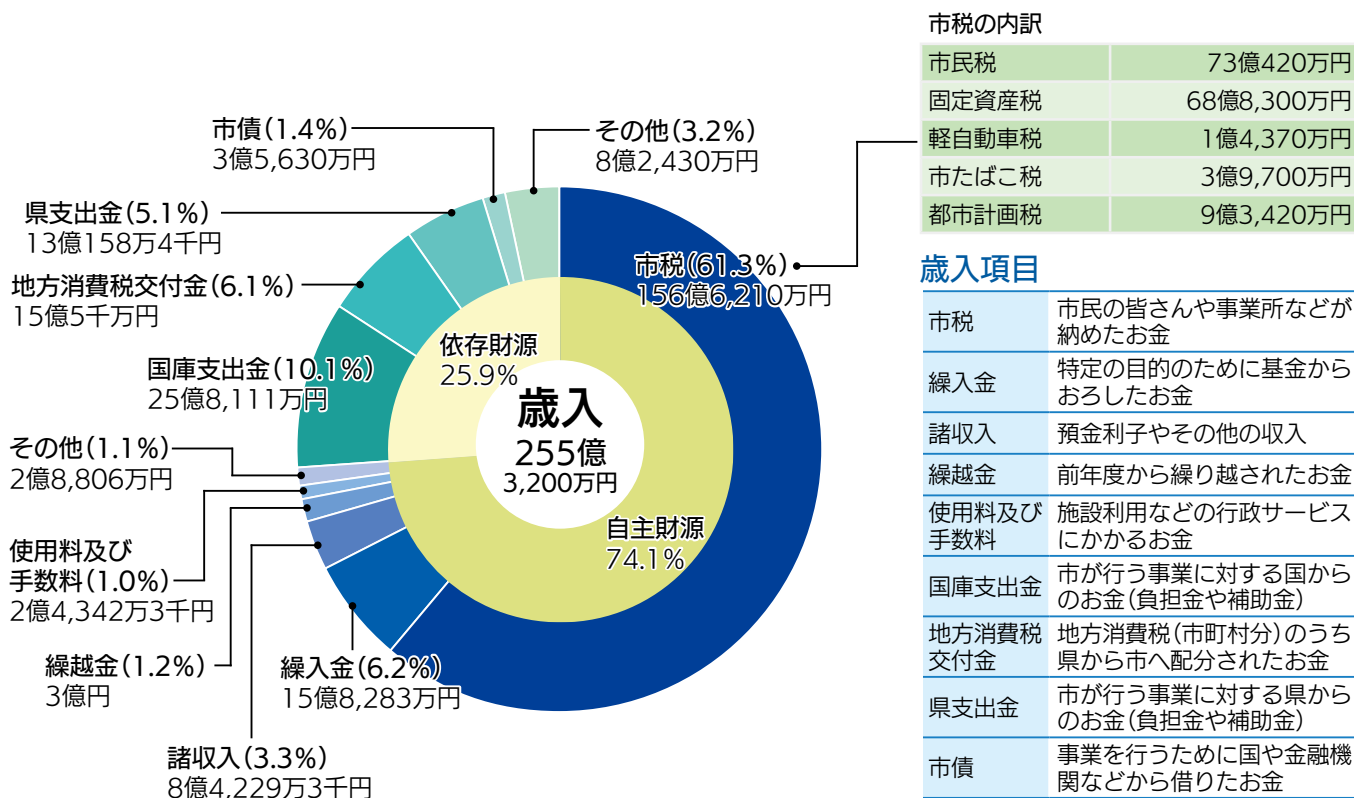
- 2050年二酸化炭素排出量実質ゼロを目指した「みよし市ゼロカーボンシティ計画」の策定を行うため市内におけるエネルギー需要見込量などを調査します。
- 太陽光発電システムなどの住宅用地球温暖化対策設備の設置や低公害車の購入に要する費用の一部を補助します。
- 市民活動の拠点となる地区拠点施設をみなよし地域に整備するため建設工事に向けた実施設計を行います。
- 性別にとらわれず人格や個性が尊重される社会を実現するためパートナーシップ・ファミリーシップ制度の導入を図っていきます。
- さんさんバスの路線やダイヤなどをリニューアルし、新たな内容で運行を開始します。

令和4年度 当初予算

財政課 ☎32-8002 FAX76-5021

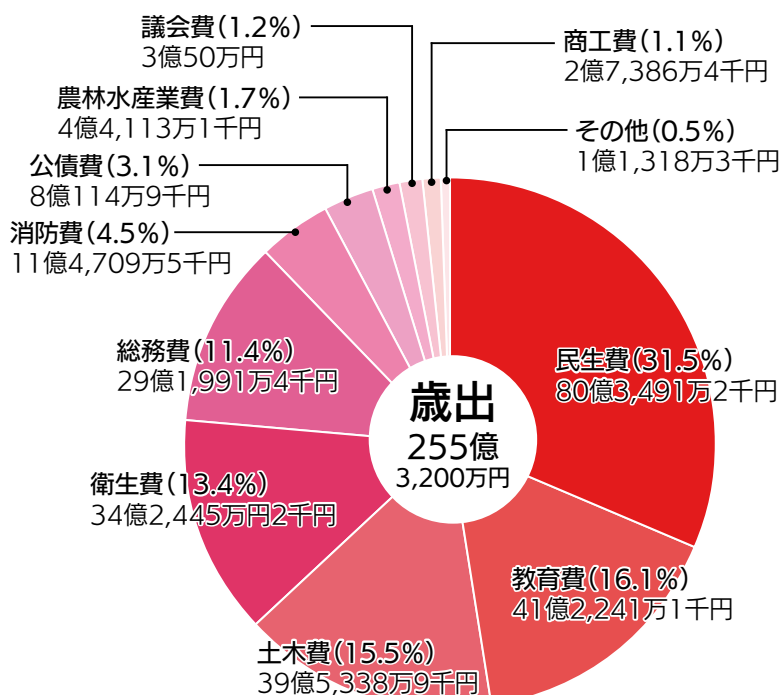
市議会第1回定例会(3月議会)において、令和4(2022)年度みよし市一般会計・特別会計(3会計)・下水道事業会計・病院事業会計の予算が可決されました。一般会計予算を中心に当初予算の概要についてお知らせします。

一般会計



歳出項目

民生費	社会福祉や児童福祉などに使うお金
教育費	学校教育や生涯学習、スポーツ振興などに使うお金
土木費	道路や公園の整備、都市計画などに使うお金
衛生費	保健事業や公害対策、廃棄物処理に使うお金
総務費	統計や選挙、交通安全などに使うお金
消防費	消防や火災、水害、地震などの災害対策に使うお金
公債費	市が国や金融機関などから借りたお金の返済に使うお金
農林水産業費	農業振興や地籍調査、緑化推進などに使うお金
議会費	議会活動に使うお金
商工費	商工業の振興や観光事業などに使うお金



会計別予算

一般会計

区分	令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
一般会計	255億3,200万円	249億1,700万円	6億1,500万円	2.5%

特別会計

区分	令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
国民健康保険特別会計	44億47万3千円	42億9,525万9千円	1億521万4千円	2.4%
介護保険特別会計	28億8,281万7千円	27億5,369万7千円	1億2,912万円	4.7%
保険事業勘定	28億2,084万9千円	27億196万7千円	1億1,888万2千円	4.4%
介護サービス事業勘定	6,196万8千円	5,173万円	1,023万8千円	19.8%
後期高齢者医療特別会計	7億6,582万6千円	7億3,726万8千円	2,855万8千円	3.9%
合計	80億4,911万6千円	77億8,622万4千円	2億6,289万2千円	3.4%

企業会計

区分	令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
下水道事業会計	27億3,662万3千円	27億5,376万5千円	△1,714万2千円	△0.6%
病院事業会計	36億470万7千円	37億7,095万3千円	△1億6,624万6千円	△4.4%
合計	63億4,133万円	65億2,471万8千円	△1億8,338万8千円	△2.8%

※△はマイナスを表します。

主な事業

●…新規

●…拡充

保育園ICTシステム導入事業

公立保育園にICTシステムを導入し、登降園の管理や保護者との連絡をICT化します。

パートナーシップ・ファミリーシップ制度導入促進事業

誰もが自分らしく生活できる社会の実現を目指します。性的指向や性自認の多様性についての理解を深めパートナーシップ・ファミリーシップ制度の導入を進めていきます。

がん患者へのアピアランスケア支援事業

がん治療の副作用に伴う外見上の変化を補うための医療用ウィッグなど補整用具の購入費用を助成します。

横断者安全明示装置設置事業

押しボタン式歩行者用信号機が設置できない横断歩道に、ボタンを押すとLEDが点滅し横断者の存在を知らせる装置を設置します。

みよしゼロカーボンシティ事業

2050年二酸化炭素排出量実質ゼロを目指すため、みよし市域内のエネルギー需要量などを調査します。

みなよし地区拠点施設整備事業

行政区の枠を超えた地域住民の交流や公益的な市民活動の拠点となる地区拠点施設を、みなよし地域に整備するため実施設計を行います。

拠点防災備蓄倉庫新築事業

災害対策物資を保管するための拠点となる防災備蓄倉庫を新たに建築します。

介護支援専門員研修受講料等助成事業

介護支援専門員(ケアマネージャー)になるために必要な受験費用と実務研修受講費用、資格有効期間満了者の再研修受講費用を市内事業所に勤務する人に助成します。

結婚新生活支援事業

新婚世帯を対象に結婚に伴う住宅取得費用や住宅賃借費用などの一部を補助します(年齢などの制限あり)。

中学校体育館空調機設置事業

熱中症対策をして生徒が安心して学ぶことができる環境の確保や災害発生時の避難所における快適な環境の確保のため市内4中学校の体育館にエアコンを設置します。

特殊詐欺対策機器購入等補助事業

高齢者を対象に通話録音装置など特殊詐欺対策機器の購入などに要する費用の一部を補助します。

エコエネルギー促進事業補助事業

一般住宅のスマートハウス化やZEH化など住宅用地球温暖化対策設備の設置や低公害車の購入に要する費用の一部を補助します。

特殊詐欺対策機器購入等補助金 防災安全課 ☎32-8046 FAX76-5702

高齢者を狙った振り込め詐欺やキャッシュカード詐欺盗などの特殊詐欺が多発しています。被害の未然防止のため、高齢者を対象に特殊詐欺対策機器の購入費などを補助します。



ホームページ

補助対象となる機器など

①通話録音装置

固定電話に取り付け、通話を録音することを相手に伝え、通話を録音する機能を有するもの

②着信拒否装置

固定電話に取り付け、管理サーバーに登録された迷惑電話番号からの着信を判別し、通知または拒否する機能を有するもの

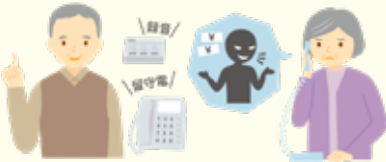
③固定電話機

上記①または②の機能を内蔵するもの

④録音通話音声ファイル解析サービス初期工事費用

電話会社の特殊詐欺対策オプションサービスを利用するための初期工事に要する費用

※補助対象のサービスについては防災安全課へご相談ください。



【対象者】

次の全てに該当する人

- 市内在住で、申請年度中に65歳に到達する
- 市税を滞納していない

【補助金額】

補助対象経費の2分の1(100円未満切り捨て、上限7千円)

【申し込み】

4月1日(金)～令和5(2023)年3月31日(金)に、申請書兼実績報告書(防災安全課で配布、ホームページからダウンロード可)に必要事項を記入して、下記の必要書類を添えて、防災安全課へ直接

※補助金の申請は、一世帯一台一回までです。

必要書類

- ①機器の購入費または解析サービスの初期工事費の支払いが確認できる書類
- ②カタログなど機器の機能または解析サービスの内容が確認できるもの
- ③住民票の写し(申請日前3カ月以内に発行されたもの)
- ④市税の完納が証明されている納税証明書(申請日前3カ月以内に発行されたもの)

※③、④は防災安全課での確認に申請者の同意を得た場合は不要です。

令和4(2022)年度の市税などの納付期限(口座振替日)

納税課 ☎32-8051 FAX76-5103

市税などの納付は、便利で安心な口座振替をご利用ください。預貯金口座から自動的に納付できます。

※口座振替の申し込みは通帳・届出印を持って、市内の指定金融機関などにある申込用紙で直接申し込んでください。市外の本支店などで申し込む場合は申込用紙を送付しますので、納税課までご連絡ください。申込日からおよそ1カ月半(ゆうちょ銀行はおよそ2カ月)以降の納付期限分から口座振替を開始します。(普)…普通徴収

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
市県民税(普)			1期 (前納) 30日		2期 31日		3期 31日			4期 31日		
固定資産税・都市計画税		1期 (前納) 2日			2期 1日				3期 26日		4期 28日	
軽自動車税(種別割)		全期 31日										
国民健康保険税(普) 後期高齢者医療保険料(普) 介護保険料(普)					1期 1日 2期 31日	3期 30日	4期 31日	5期 30日	6期 26日	7期 31日	8期 28日	
し尿汲取り手数料		上期 2日				下期 30日						

みよし市の人口

(令和4(2022)年3月1日現在)

人口 61,339人(+1人)

男性 31,454人(-23人)

女性 29,885人(+24人)

世帯数 25,048世帯(-4世帯)

※()は前月比

市では、あらゆる人権課題の解消と人権が尊重される社会の実現に向けて、さまざまな人権について触れていただくため、身の回りにある人権に関わるテーマを一年間かけて連載していきます。



【参考:愛知県人権啓発ガイドブック「人権の世紀へ」】

人権ってなんだろう？



人権とは、人間が人間らしく生きていくために全ての人が生まれながらにして持っている権利です。私たち一人一人にとってかけがえのない大切なものです。「健康な生活を送りたい」「安定した仕事に就きたい」「友達と楽しく学校で勉強したい」など、私たちは生活していく中でさまざまな願いや思いを持っています。それぞれ違った個性を持った存在であっても、こう生きたいと願うことは誰でも平等でなければなりません。

どんな人権があるの？

私たちの周りには人権が尊重されない、人権が侵害されるといったさまざまな問題があります。人権に関する問題は、女性や子ども、高齢者、障がい者、感染症患者などその背景や経緯は実に多様です。



人権課題の解消に向けて

愛知県では…

愛知県では令和4(2022)年4月1日に「愛知県人権尊重の社会づくり条例」が施行されました。相互に人格と個性を尊重し合いながら支え合い、多様性を認め合う、誰一人取り残されることのない人権尊重の社会づくりを進めましょう。

【愛知県人権尊重の社会づくり条例第1条より】

この条例は、人権尊重の社会づくりについて、県、県民及び事業者の責務を明らかにするとともに、人権尊重の社会づくりに関する施策の基本となる事項を定めること等により、人権施策を総合的かつ計画的に推進し、もってあらゆる人権に関する課題の解消を図るとともに、全ての人の人権が尊重される社会の実現に寄与することを目的とする。

みよし市では…

人権移動教室

人権教育講演会

保育園児 小学生 中学生 市民

街頭啓発活動、人権啓発映写会、人権相談など



市では、お互いの人権を認め合う住みやすいまちを目指して、皆さんとともに家庭、地域、学校、職場、その他あらゆる分野において人権尊重の社会づくりに積極的に取り組むよう努めていきます。一人一人が人権尊重の意識を身に付け人権問題を自分の問題として受け止めていただき、住みよいまちを一緒に作っていきましょう。